

住・産共用フレキシブル蓄電システム

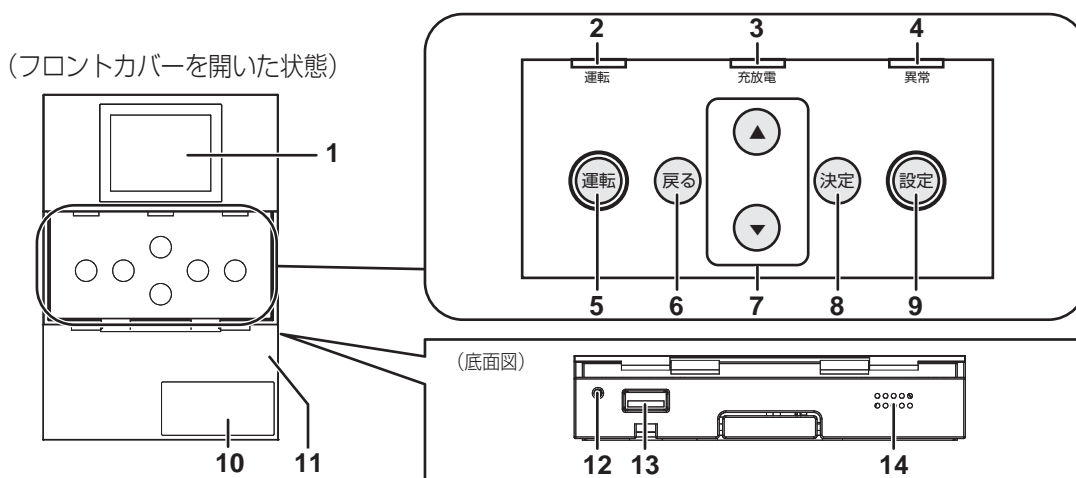
停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

本紙は停電時のシステムの機能および使用方法を説明しています。安全にお使いいただくために、本紙とあわせて、取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。自立運転に切り替わると、特定負荷用分電盤に接続している電気製品やコンセントに蓄電池ユニットに蓄えた電力または太陽光発電の発電電力が供給されます。

各部の名前と働き

リモートコントローラ



1 表示部
蓄電池の充放電の状態やエラーコード、接続されているパワーコンディショナの運転状態などを表示します。

2 運転ランプ
パワーコンディショナの運転状態を表示します。
- 緑色点灯：連系
- 橙色点灯：自立
- 消灯：停止

3 充放電ランプ
蓄電池ユニットの運転状態を表示します。
- 緑色点灯：放電
- 橙色点灯：充電
- 消灯：充放電なし

4 異常ランプ
- 赤色点灯：異常発生

5 運転ボタン
運転画面に切り替えます。

6 戻るボタン
ひとつ前の画面に戻ります。
● 長押しすると、メイン画面に戻ります。

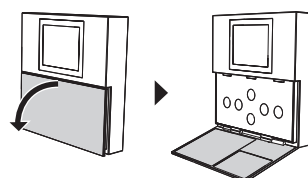
7 ▲/▼ボタン
表示中の項目の選択に使用します。

8 決定ボタン
表示中の項目の決定に使用します。

9 設定ボタン
設定画面に切り替えます。

10 定格ラベル
製造番号などの情報が記載されています。

11 フロントカバー
下記のように、矢印の方向に開いてください。



● 操作終了後は、フロントカバーを閉めてください。

12 リセットスイッチ
リモートコントローラを再起動します。

13 USB コネクタ (Type A)
使用しません。

14 ブザー開口部

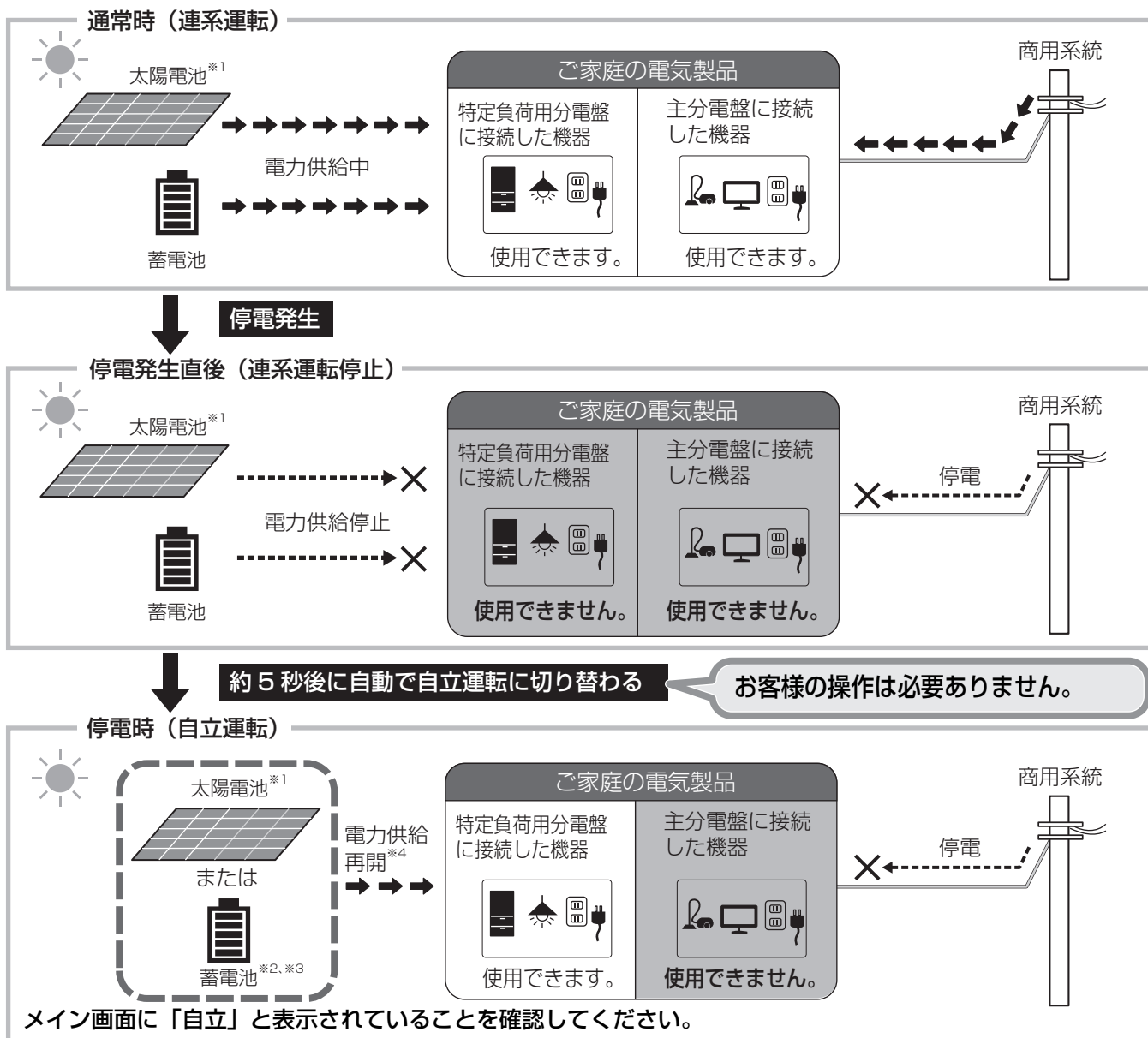
停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（メイン画面に「自立」と表示され、自立運転に切り替わっているか確認してください。）自立運転に切り替わると、特定負荷用分電盤に接続している電気製品やコンセントに蓄電池ユニットに蓄えた電力または太陽光発電の発電電力※¹が供給されます。

停電時に慌てないように、どのコンセント（もしくは電気製品）が特定負荷用分電盤に接続されていて停電時に使用できるかを、日頃から確認しておいてください。

- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの自立運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナに付属の取扱説明書をご確認ください。

（下記はイメージ図です）



※ 1. **システム併設** のみ

※ 2. 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時においては規定の蓄電残量になると放電を停止します。規定値以上まで充電を行うと、放電を再開します。放電を停止する蓄電残量の規定値は 8% (KP-BU65-A) または 6% (KP-BU98-B) です。SOC 下限設定を 0% に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。

※ 3. 停電時モードが「太陽光給電」もしくは「自動」に設定されている場合、太陽光発電から蓄電池に充電される場合があります。供給する電力は、停電時充電電力の設定によって異なります。（⇒ 取扱説明書）

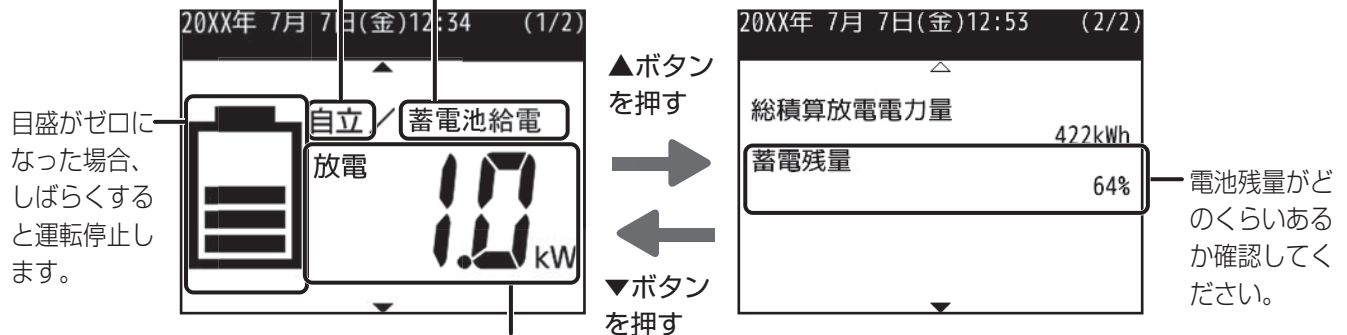
※ 4. 電力供給元は、停電時モードの設定に従って供給されます。（⇒ 取扱説明書）

停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）（つづき）

◆ 停電時のリモートコントロールの表示について

リモートコントロールは蓄電池から給電されているので、停電時も通常通りに操作することができます。停電時はメイン画面で自立運転に切り替わっていることを確認してください。

自立運転に表示が切り替わっているかを確認してください。蓄電池の給電方法が表示されます。



「放電」と表示され、特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントへの供給電力が表示されます。

- **システム併設** 太陽光発電の発電電力が蓄電池に供給されている場合は「充電」となり、蓄電池への充電電力が表示されます。太陽光発電の発電電力に関しては、太陽光発電システム側の表示を確認してください。

◆ 停電時に使用する場合のご注意

- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントには、突然停止しても安全性に問題がない電気製品を接続してください。下記の電気製品は特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続しないでください。
 - すべての医療機器
 - 灯油やガスを用いる冷暖房機器やヒータを持つ機器
 - デスクトップパソコンなどのバッテリーを持たない情報機器
 - その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続している電気製品の合計消費電力は、2000VA 以下（AC 100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
- 蓄電池ユニットの電池残量や太陽光発電の発電量（**システム併設**のみ）などにより 2000VA の電力が供給されない場合があります。
- 電気製品によっては定格のワット数（W）以上の電力（VA）を消費するものがあります。そのため、定格のワット数（W）が「2000」以下であっても使えない場合があります。
- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続する電気製品を安定してお使いいただくため、また停電時により長い時間お使いいただくため、接続する電気製品の合計電力（W）は 500W 程度に抑えることをお勧めします。
- 停電時に万一、特定負荷用コンセントに接続した電気製品が使えない場合は、特定負荷用コンセントから外してください。
- 停電時に万一、特定負荷用分電盤に接続した電気製品が使えない場合は、電気製品が接続されている分岐ブレーカを「オフ」にしてください。
- 蓄電池の電池残量が残り少なく、放電できない場合は、表示部に「放電停止 SOC 到達」のお知らせが表示されます。蓄電池の電池残量が 0% になると、表示部に「蓄電残量低下（停電時）」のお知らせが表示され、約 30 分後にシステムの電源が切れます。（⇒ 取扱説明書）
- **システム併設** 蓄電池の電池残量が 0% になっても、下記の設定条件を満たしていれば、太陽光発電している場合は蓄電池に充電することができます。
 - 停電時モードの設定が「太陽光給電」もしくは「自動」
 - 停電時充電電力の設定が「0W」以外（初期値は 0W です。設定を変更する必要があります。）
- システムの電源が切れた場合は、復電後に再起動します。長期に渡ってシステムの電源が切れた場合は、再起動後に日時設定画面が表示されます。（⇒ 取扱説明書）再設定を行って下さい。

停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）（つづき）

◆ 自立運転を停止させるには

「システムの運転 / 停止の切り替え」(⇒ 下記) の操作で停止させてください。

- 自立運転の停止中に復電した場合は、自動で連系運転に切り替わりません。再度「システムの運転 / 停止の切り替え」(⇒ 下記) の操作で運転を再開し、連系運転に切り替えてください。

◆ 自立運転が自動的に停止した場合は

掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いて運転が停止することがあります。運転が停止した場合は、特定負荷用分電盤に接続している機器の一部を停止し、消費電力を少なくしてください。

(**システム併設** 停電時モードが「太陽光給電」もしくは「自動」に設定している場合 (⇒ 取扱説明書) は、停電時充電電力の設定を小さな値に変更してください。(⇒ 取扱説明書))

数分後に自動で自立運転を再開します。

自動で自立運転を再開しない場合は、「システムの運転 / 停止の切り替え」(⇒ 下記) の操作で一旦停止させて、再度運転させてください。

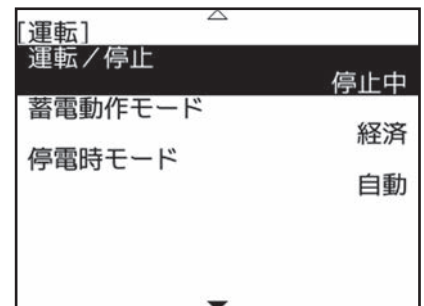
システムの運転 / 停止の切り替え

1 メイン画面表示中 (⇒ 3) に運転ボタンを押す

- 運転画面が表示されます。

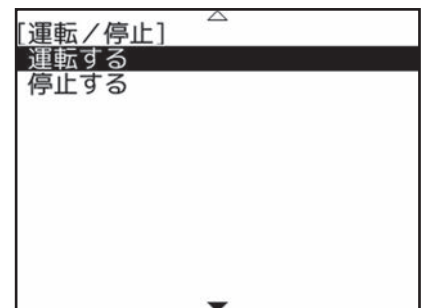
2 運転画面で「運転 / 停止」を選び、決定ボタンを押す

- 運転 / 停止切替画面が表示されます。



3 設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

運転する	システムの運転を開始します。
停止する	システムの運転を停止します。



4 内容を確認して、決定ボタンを押す

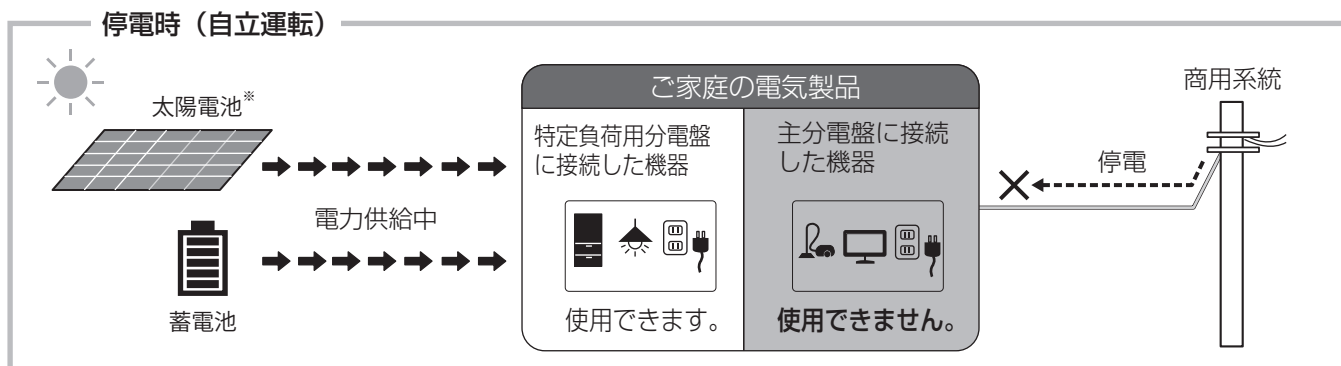
- メイン画面に戻ります。
- 「運転する」を選んだ場合、表示部に「運転再開中。しばらくお待ちください。」と表示され、カウントダウンが始まる場合があります。カウントダウン終了後は、メイン画面に戻り、システムの運転を開始します。

復電時には（連系運転への自動切り替え）

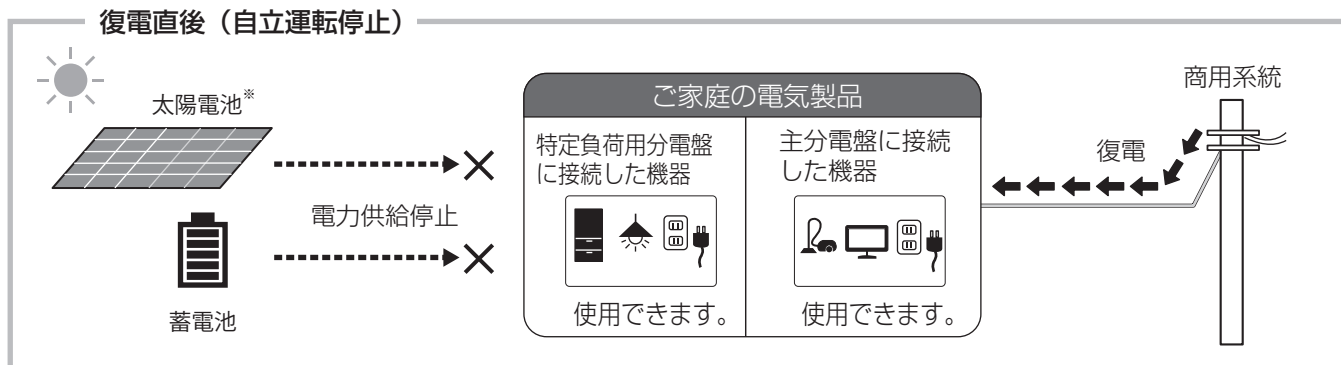
復電すると自動で自立運転から連系運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（メイン画面に「連系」と表示され、連系運転に切り替わっているか確認してください。）

- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの連系運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナに付属の取扱説明書をご確認ください。
- リモートコントローラの表示部に「運転を開始します。決定ボタンを押してください。」と表示されている場合は、決定ボタンを押して、連系運転への切り替えを行ってください。

（下記はイメージ図です）

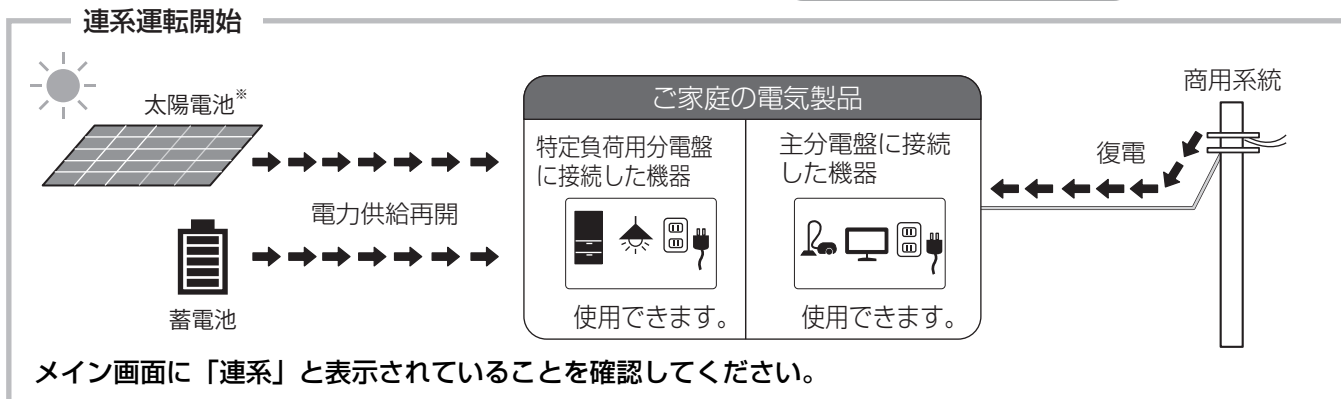


復電



最大5分程度で自動的に連系運転に切り替わります

お客様の操作は必要ありません。



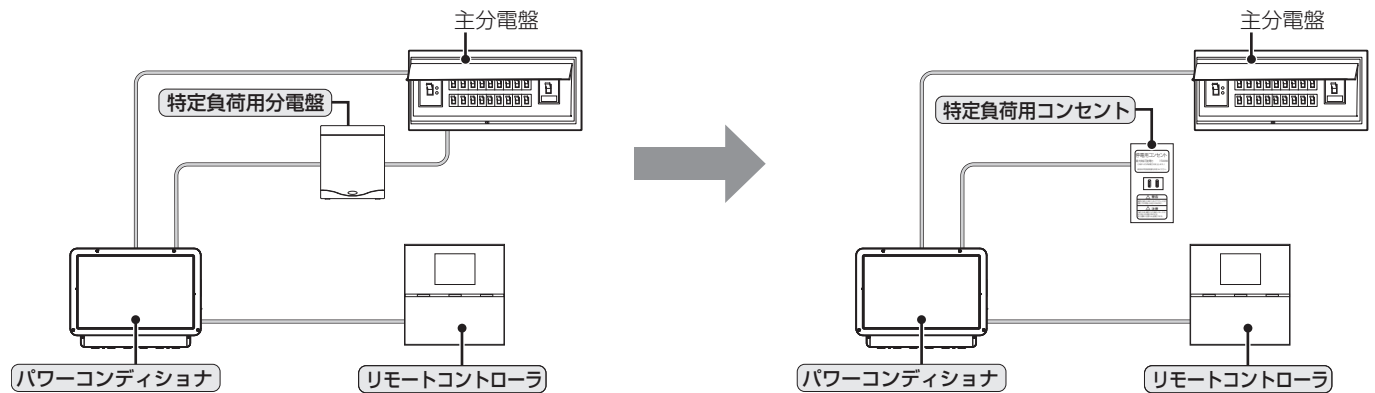
※ **システム併設** のみ

特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて

本書は主に特定負荷用分電盤を含むシステムについて説明しています。
特定負荷用分電盤を含まないシステムの場合は下記をお読みください。

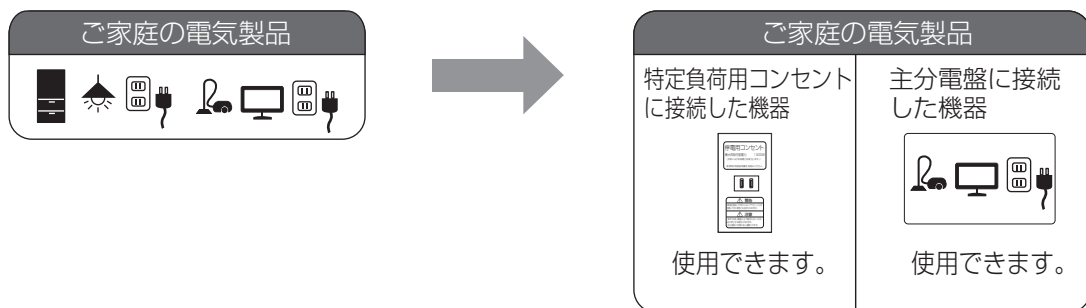
◆ システム構成について

「システム構成と各機器の働き」(⇒ 取扱説明書)のパワーコンディショナと特定負荷用分電盤を下図に読み替えてください。

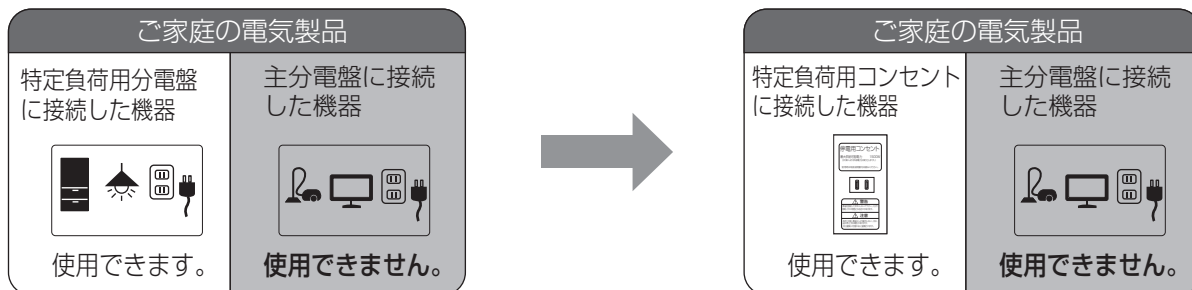


◆ 家庭内の電気の流れについて

- 1 通常時は特定負荷用コンセントに接続した電気製品に電力が供給されます。
「連系運転について」(⇒ 取扱説明書)と「運転モードを確認・変更する」の「強制充電モードについて」(⇒ 取扱説明書)と「強制放電モードについて」(⇒ 取扱説明書)に記載している「ご家庭の電気製品」を下図に読み替えてください。



- 2 自立運転時は特定負荷用コンセントに接続した電気製品に電力が供給されます。
「自立運転について」(⇒ 取扱説明書)に記載している「ご家庭の電気製品」を下図に読み替えてください。



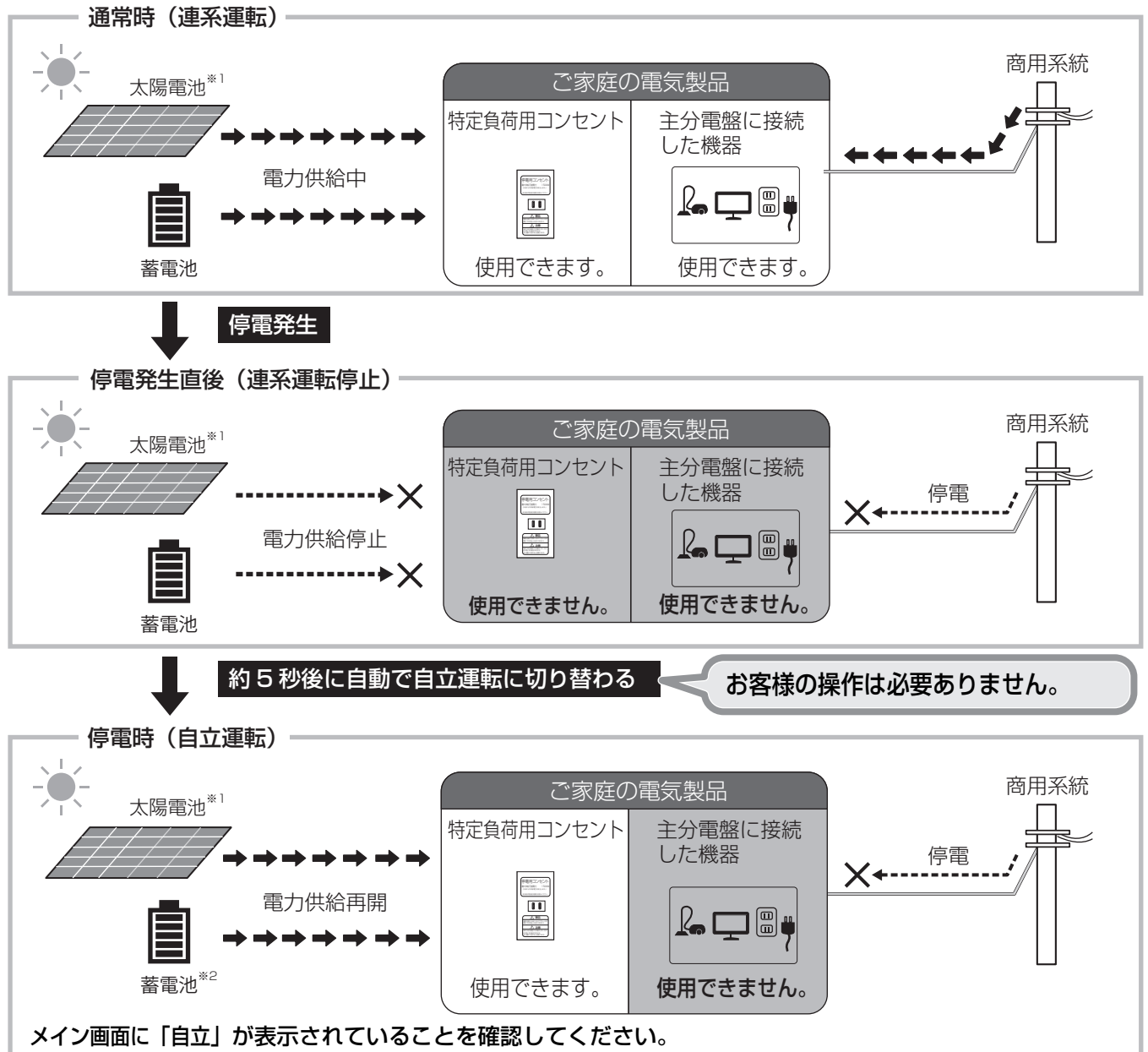
特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて（つづき）

◆ 停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（メイン画面に「自立」と表示され、自立運転に切り替わっているか確認してください。）自立運転に切り替わると、特定負荷用コンセントに蓄電池ユニットに蓄えた電力または太陽光発電の発電電力（**システム併設**のみ）が供給されます。

- 停電発生後、特定負荷用コンセントに、使用したい電気製品を接続してください。
- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの自立運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナに付属の取扱説明書をご確認ください。

（下記はイメージ図です）



※ 1. **システム併設** のみ

※ 2. 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時においては規定の蓄電残量になると放電を停止します。規定値以上まで充電を行うと、放電を再開します。放電を停止する蓄電残量の規定値は 8% (KP-BU65-A) または 6% (KP-BU98-B) です。SOC 下限設定を 0% に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。

- 特定負荷用コンセントに接続する電気製品の合計消費電力は、2000VA 以下（AC 100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
- 特定負荷用コンセントに接続した電気製品が動かない場合、特定負荷用コンセント用ブレーカがオフになっている可能性がありますので確認してください。

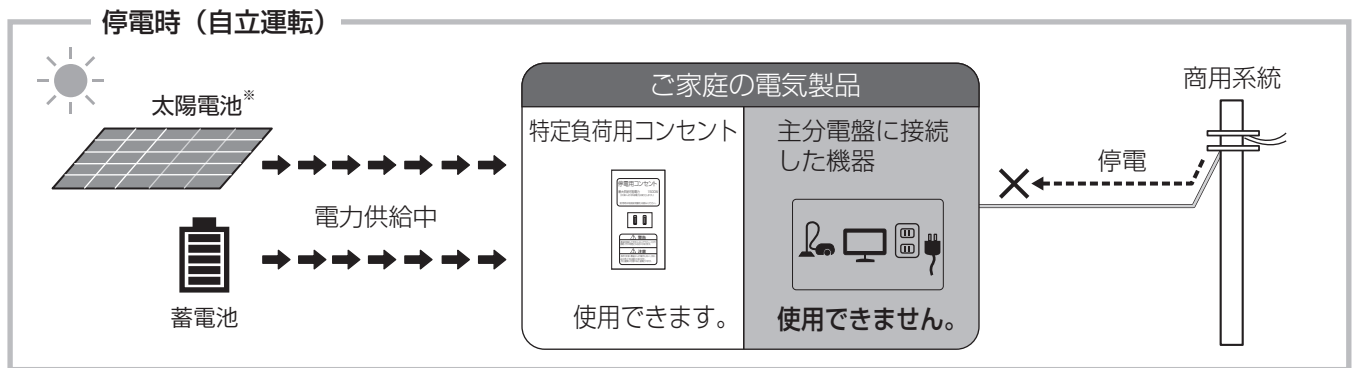
特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて（つづき）

◆ 復電時には（連系運転への自動切り替え）

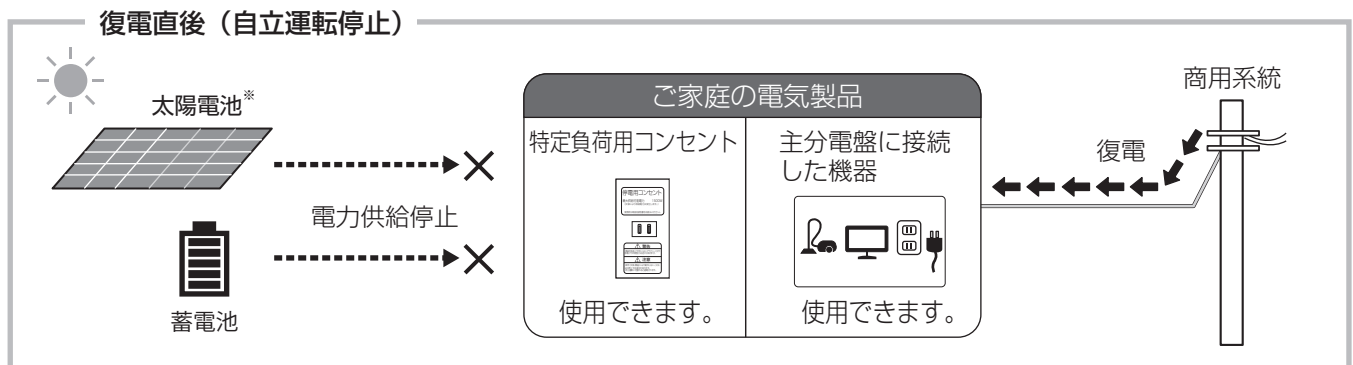
復電すると自動で自立運転から連系運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（メイン画面に「連系」と表示され、連系運転に切り替わっているか確認してください。）

- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの連系運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナに付属の取扱説明書をご確認ください。
- リモートコントローラの表示部に「運転を開始します。決定ボタンを押してください。」と表示されている場合は、決定ボタンを押して、連系運転への切り替えを行ってください。

（下記はイメージ図です）

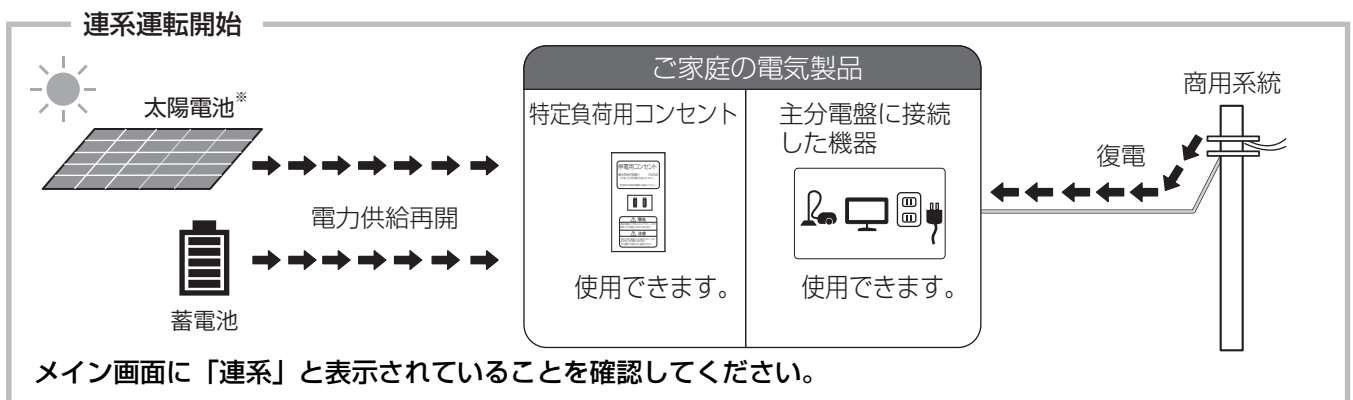


復電



最大5分程度で自動的に
連系運転に切り替わります

お客様の操作は
必要ありません。



※ **システム併設** のみ